

新しい生活様式を取り入れた団体競技（中）

『やればできる！すすんで
かかえて箱をかえそう!!』

新型コロナウイルス感染症対策を講じた団体競技を行いました。

赤と白に塗り分けた大小の箱を、自分の組の色が上になるように向ける競技です。

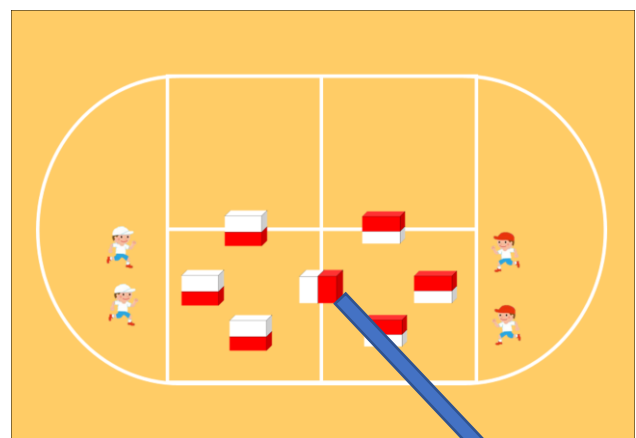
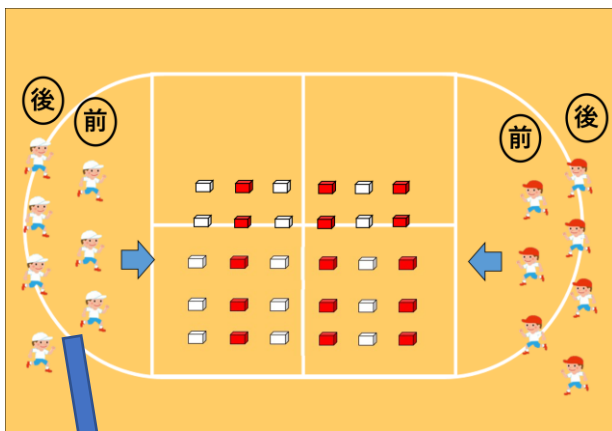
1回戦は小さな箱(30個)で、全員が一斉に。2回戦は大きな箱(7個)で、リレー形式で競います。



小さな箱は一人で



大きな箱は二人で



箱の配置と生徒の並び方

生徒は間隔を取って並んで待つ

中央の大きな箱は、公平になるように赤白の面が上になるように準備



【ルール】

- ・30秒間で、たくさんの箱を自分の組の色にした方が勝ち。
- ・二人組での移動は手をつなぐずにペアの友だちの動きを見て移動。
ペアの友だちと顔を見合わせてひっくり返す箱を決めたり、動きを合わせて箱をひっくり返したり、息の合った動きがポイントになります。一人でひっくり返した場合は、審判の教師が知らせ、やり直しです。
- ・箱は複数の人が触るため、軍手をして競技。

生徒には次のスライドでルールを知らせました。

1 回戦 ルール

- ① 笛の合図ではじめる
- ② 自分の色の面をオモテにする
- ③ 箱をふんだりなげたりしない
- ④ 友だちの持っている箱をさわらない
- ⑤ 笛の合図でおわる

2 回戦 ルール

- ① 笛の合図ではじめる
- ② 1人で箱をひっくりかえさない
- ③ 2人で箱を持ってひっくりかえす
- ④ 笛の合図でおわる

【判定】

- ・小さな箱は生徒にわかりやすいように、横に並べる。
- ・小さな箱は、数字が見やすいよう、5とびの大きな数字を表示。
- ・1回戦の小さな箱で判定、2回戦の大きな箱で判定をする。

